

令和 7 年度 第 3 回富山支部評議会の概要報告

開 催 日	令和 8 年 1 月 20 日（火）10：00～12：00
会 場	翡翠の間（ボルフアートとやま 4 階）
議 題	<p>(1) 令和 8 年度富山支部保険料率等について</p> <p>(2) 令和 8 年度支部事業計画（案）、広報計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について</p> <p>(3) その他</p>
出 席 者	<p>評議員</p> <p>学識経験者：森口評議員（議長）、岡本評議員、島崎評議員</p> <p>事業主代表：平野評議員、深松評議員</p> <p>被保険者代表：荒木評議員、河口評議員</p>
報 告 概 要 (主な意見等)	<p>事務局より各議題について資料により説明。委員の主な意見等は以下のとおり。</p> <p>議題 1. 令和 8 年度富山支部保険料率等について</p> <p>資料 1 令和 8 年度富山支部保険料率等について</p> <p>(学識経験者)</p> <p>平均保険料率が引き下げられることは良かったが、加入者の負担は介護保険料や子ども・子育て支援金を含めると全体として増えてしまう。加入者に納得してもらえよう、健康保険料率は引き下がったことを丁寧に広報してもらいたい。国庫補助について 3 年間の減額の後、見直しを検討されているとのことだが、その後は国庫補助率自体も減らされていくことが懸念される。</p> <p>(事業主代表)</p> <p>マイナ保険証を利用すると入院時など医療費が高額となった場合に自己負担限度額までで済むのか。</p> <p>〈事務局〉</p> <p>マイナ保険証を利用すれば医療機関での支払いが自己負担額の上限で済む。</p> <p>(被保険者代表)</p> <p>加入者の立場として、物価高や実質賃金の減少により生活が厳しい中で平均保険料率を引き下げることは評価できる。</p> <p>子育て支援や少子化対策に社会全体で取り組むことは重要であるが、子ども・子育て支援金の導</p>

入により加入者は実質的な負担増となる。導入にあたって負担感を排除した運用や子育てに対する不安の軽減につながる本質的な少子化対策・子育て支援の実現と加入者に向けた丁寧な広報をお願いしたい。また、インセンティブ制度がわかりにくいいため、加入者の行動変容につながる広報を行ってほしい。

(学識経験者)

富山の医療費が増加傾向という話があったが、今後も増加していくことが見込まれるのか。

〈事務局〉

富山支部の医療費自体は全国で2番目か3番目に低いというのは変わっていないが、伸び率は全国より高いというのがここ数年続いている。断定はできないが傾向としてはあるかもしれない。

(学識経験者)

年齢で見ると50代の加入者一人当たり医療費の伸びが他支部と比較すると高い。どのような理由が考えられるか。

〈事務局〉

現時点で理由はわからない。今後の分析の結果、顕著な理由が判明した場合は対策を講じる。

(学識経験者)

今後の医療費の動向について、県の年齢構成や医療機関の数、高度医療の提供体制などによって変わっていくとは思いますが、外部へ分析を依頼する予定はあるか。

〈事務局〉

現時点において富山支部では大学との共同研究や分析委託は行っておらず、データ分析に関して課題だと考えている。今後、データ分析担当者の育成や大学との共同研究等を進め、データ分析に注力したい。

(被保険者代表)

加入者一人当たり医療費及び伸び率の推移のグラフにおいて、富山支部と全国とで乖離がある月について要因分析をしているか。また、医療費の伸びを抑えるために行っている広報の効果測定は難しいが、その中で今後どのように広報を進めていくのか聞きたい。

〈事務局〉

富山支部と全国とで月により乖離がある要因についての分析はできていない。ご意見いただいた視点も踏まえて、今後分析していきたい。広報については、この広報をしたから医療費が適正化されたと効果測定することは難しい。予算に限りもあるため、評議員の皆様のご意見を聞きながら費用対効果の高い方法を検討していきたい。

(被保険者代表)

多剤服用について以前事業を行ったと思うが効果はどうだったのか。

〈事務局〉

令和 6 年度事業で多剤服用している対象者へ医療機関や薬局で相談を促す案内通知を行い、令和 7 年度に対象者の減薬につながったか効果測定を行った。一定程度の効果は認められたものの、費用に見合う効果は得られなかったため、令和 8 年度の事業実施は見送った。

議題 2. 令和 8 年度支部事業計画（案）、広報計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について

資料 2-1 令和 8 年度支部事業計画（案）の概要

資料 2-2 令和 8 年度支部事業計画（案）

資料 2-3 令和 8 年度支部広報計画・予算（案）

資料 2-4 令和 8 年度支部保険者機能強化予算（案）

（事業主代表）

健康教育は何歳を対象としているのか。また、小学生でもタブレットを活用して学んでいる市町村もあるので e-ラーニングの教材として配布したほうが効果的ではないか。

〈事務局〉

健康教育は小学校 5 年生～6 年生を想定している。e-ラーニングの教材について業者から見積もりを取ったが、費用が高額であるため令和 8 年度の事業実施は見送った。

（学識経験者）

加入者は、何もないのに協会けんぽのホームページを見にいくことはない。電子申請の申請画面から協会けんぽの情報が見られたり、送付物に QR コードを載せ、ホームページを見てもらえるようにするとよい。また、事業計画の中でデータ分析や広報等に関して支部担当者のスキルアップ教育とあるが、専門分野は必要に応じて外部委託を推進しても良いのではないか。

（事業主代表）

建設業では 10 月 1 日から 7 日まで全国労働衛生週間において健康づくりの取り組みを行っている事業所が多い。その期間にどんな取組をしようか悩んでいる事業所も多いことから、協会けんぽの健康講座等が実施可能な旨を広報すれば希望する事業所もあるのではないか。

（事業主代表）

富山県中小企業団体中央会の会合などで協会けんぽの健康づくり事業について説明する時間を取ることも可能である。必要であれば事務局に提案してほしい。

（被保険者代表）

広報計画の中で新聞活用が多いが、若い方はあまり新聞を取っていないため、新聞等の紙媒体よりも SNS を活用したほうが良いのではないか。

〈事務局〉

広報媒体については SNS など効果的なものを検討する。

議題 3. その他

参考資料 電子申請チラシ

（学識経験者）

電子申請は本人からの申請が必要であることを事業所や加入者に周知する必要がある。

（被保険者代表）

利用可能時間が平日 8 時～21 時というのは変わらないのか。

〈事務局〉

マイナンバーカードを利用して本人確認をするシステムの稼働時間が平日 8 時～21 時であるため、これに伴い現状の利用時間となっている。利用時間を延ばせるように開発を進めているところである。

（被保険者代表）

利用者としては 24 時間使えないとあまり意味がないのでぜひ改善をお願いしたい。

以上

特 記 事 項	
---------	--

- | | |
|------------------------------|--|
| ・傍聴者なし
・次回 令和 8 年 3 月開催予定 | |
|------------------------------|--|